4 つの「守る」

防災減災·生活環境



























1.防災減災・生活環境分野における現状

気候変動などの影響により、全国で豪雨による河川の氾濫や土砂災害などが多発、大規 模化しています。その中でも、過去に勝山市を襲った豪雪は大きな爪痕を残すなど「雪」は市 民にとって大きな課題となっています。

こういった中、市民の防災意識の向上と地域における避難体制の確立のため、勝山市総 合防災訓練および各地区住民避難訓練を毎年実施するほか、大地震による人的および経 済的被害の軽減を図るために市内の住宅・建築物の耐震化を進めています。

また雪に対しては市道除雪、各世帯への支援、地域コミュニティへの支援などの公助に取 り組みながら、自助および共助との連携を進めています。しかし人口減少・少子高齢化によ り自助および共助の衰退が進んでいます。

積雪深(R2、H30豪雪、S56豪雪との比較) 300 (cm) 270 250 200 198 150 100 50 12月10日 12月20日 1月9日 2月18日 12月30日 1月19日 1月29日 2月8日 令和2年度 平成30年豪雪 ■ 昭和56年豪雪

出典:勝山消防署による観測データ(観測地点:勝山市消防署)

その他に、維持管理されず老朽化が進んでいる空き家などの建築物が増加し、周辺の生活環境に様々な悪影響を及ぼしています。

安全で安心して暮らせるよう消防や救急医療、交通安全、防犯、消費者保護などに取り組んでいます。また快適な生活環境を維持するため、外来種駆除や希少動植物保全などに取り組んでいます。一方で、広報やチラシ等を活用し、ごみの減量に向けた啓発を行っていますが、ごみの減量、リサイクル率は伸び悩んでいます。

上水道事業では、全ての簡易水道の統合により、施設管理を一元化し、給水の安全性・安定性の確保に取り組んでいます。公共下水道事業や農業集落排水事業では、施設・管渠を整備し、生活環境の向上や自然環境の保全に取り組んでいます。

その他、道路や公園、河川などの都市基盤については、地区要望等に基づき、道路改良・修 繕、河川改修に取り組んでいます。



出典:勝山市のすがた

2.防災減災・生活環境分野における課題

- 1. 少子高齢化や核家族化といった社会構造の変化により、これまで家族単位で行ってきた た屋根雪おろしや敷地内の除雪が困難になってきています。
- 2. 人口減少、高齢化に伴いこれまで共助で担ってきた狭い道路や歩道の除雪、地域コミュニティが担ってきた集落センターなどの共有施設の除雪継続が難しくなってきており、持続可能な共助の仕組みを検討する必要があります。
- 3. 地域での高齢化が進み、自助による災害対策が困難になっている中、地域住民による 共助を強化する必要があります。
- 4. 人口減少による共助の担い手不足、高齢化による災害時要援護者の増加、近年の災害 の大規模化、広域化、複合化により、共助と公助の連携を強化する必要があります。
- 5. 近年頻繁に発生する雪害に対しては、市民や行政、関係機関などがより一層連携し、除 排雪体制を整える必要があります。
- 6. 空き家等を適正に管理していくために、移住定住者のための住宅、店舗としての活用など幅広い対策や撤去のための法的措置を実施していく必要があります。
- 7. 火災は、火災予防知識の不足と防火に対する意識の低さから発生することが多いため、防火意識の向上に取り組む必要があります。
- 8. 消防、救急医療体制の充実、関係機関と連携した高齢者の交通安全対策、総合的な防犯体制、消費者保護対策の推進など、市民の日常生活における安全安心を確保する必要があります。
- 9. 高齢者をはじめとした交通弱者*に利用しやすく安全で安心な移動手段を確保する必要があります。
- 10.交通事故における高齢者の割合が高くなっていることから、高齢者の歩行中や自動車の利用による事故防止対策に取り組む必要があります。

- 11.温暖化など地球規模での環境問題に対し、身近なところから取り組む意識を向上する必要があります。
- 12.上下水道事業では、施設・管渠の整備がほぼ終了し、事業創設以来整備してきた施設・ 管渠が更新時期を迎えます。今後は、適切な維持管理を行いながら、効率的な改築や 更新を実施していく必要があります。
- 13.高度経済成長期以降に集中的に整備された道路や公園、河川などが今後老朽化する中、既存施設の安全性を確保するため、各施設の重要度を考慮した計画的修繕に取り組む必要があります。



防災減災・生活環境分野におけるまちづくりの指標

指標名	現状	目標	
	(令和 2(2020)年度調査)	(令和 7(2025)年度調査)	
年間転出者数	505人	目標年次までの期間	
十月41日 女	505 X	年平均 450 人以下	

【設定理由】

生活環境を改善することで、転出者の減少を図る。





自助・共助・公助の連携が とれた地域防災力の高いまち



▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な 方向性 1

雪などの災害に対する効果的な自助・共助・公助の仕組みを再構築し、行政と 地域コミュニティとの連携強化により、災害情報の伝達強化、避難所の運営 強化など地域防災力の向上に取り組みます。

施策

災害に対する準備および体制の強化

具体的な取組

避難所運営マニュアルを活用した訓練を実施するとともに避難者支援の有効性を

- ① 検証し、マニュアルを随時更新
- ② 自主防災組織の活動の活性化に向けた支援を実施
- ③ 地区防災計画制度などに関する住民向けの研修を実施
- ④ 地域による避難行動要支援者に対する見守り活動などの取り組みを支援
- ⑤ 児童・生徒の防災・防犯教育を実施
- ⑥ 災害発生時の情報伝達手段の多様化・多層化
- ⑦ 浸水想定区域、土砂災害警戒区域の周知
- ⑧ 非常用物資の備蓄

除雪機械の配備や除雪路線の見直し等により効果的・効率的な除雪体制を 充実するとともに、市民や行政、関係機関などが連携した除排雪体制を構築 します。

施策

積雪時における安全で安心できる除排雪体制の確保

具体的な取組

- 効果的・効率的な除雪体制を充実するため除雪機械の配備や除雪路線の見直し
- 等を実施
- ② 通学路を中心とした安全で安心な歩行者通行区間を確保
- ③ 高齢者等の除排雪を支援

基本的な 方向性 3

住宅の耐震診断、耐震改修を支援し、住宅の耐震化に取り組むとともに、雪に 強い克雪住宅の普及に取り組みます。

施策

住宅の改修を支援

- ① 住宅の耐震診断、耐震改修を支援
- ② 避難路に面する危険ブロック塀等の除去に要する費用を支援
- ③ 建築物のアスベスト調査を支援
- ④ 住宅の克雪化に要する経費を支援

適切な管理が行われていない空き家の所有者等に解体等を促し、管理不全な空き家等の解消に取り組むとともに、利用可能な空き家等を地域の資源と捉え、活用を促進します。

施策

空き家等の減少に向けた対策の強化

具体的な取組

- ① 空き家等の適正管理に関する啓発を実施
- ② 空き家情報バンクを活用した住宅情報の提供
- ③ 管理不全な空き家等の所有者に対し助言または指導等を実施
- ④ 老朽危険空き家の解体を支援
- ⑤ 空き家等の跡地の積極的な活用

基本的な 方向性 5

市民の防火意識の向上等による火災予防の強化に努め、火災件数ゼロを目指します。

施策

火災予防対策の強化

- ① 火災予防啓発活動や防火指導を実施
- ② 住宅火災警報器の設置・維持管理を促進
- ③ 防火対象物や危険物施設の防火査察を強化

消防施設等を計画的に整備し、広域応援受援体制を確立し災害に備えます。 また少子高齢化に対応し消防団員の減少傾向を食い止め、各地区自衛消防 活動など、消防力を維持します。

施策

消防体制の充実

具体的な取組

- ① 消防車両、救急車両の計画的な更新および整備を実施
- ② 消防水利施設の計画的かつ効率的な配置および整備を実施
- ③ 自衛消防活動の維持・充実を支援
- ④ 消防団活動への理解と新規入団を促進
- ⑤ 消防団員の処遇改善を実施

基本的な 方向性 7

救急医療に対する市民の理解を深め、救命率向上に向けた体制の維持、 確保に取り組みます。

施策

救急体制の充実

- ① バイスタンダー*育成のため普通救命講習をはじめとする各種救急講習を実施
- ② 救急車の適正利用に向けた啓発活動の実施
- ③ 救急隊の質の向上に向けた研修等の受講



重要業績評価指標(KPI)

(単位:km)

指標名	消雪施設の整備延長				
基準年度	目標期間				
R2	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標值	目標值	目標值
19.1	19.3	19.5	19.7	19.9	20.1

(単位:%)

指標名	市民アンケートにおけるお住いの区での消防・防災訓練に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)				
基準年度	目標期間				
R2	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標值	目標値	目標值	目標值	目標值
33.5	_	42.0	_	_	50.0

指標名	旧耐震基準時に建てられた木造住宅の耐震診断及び補強プランの作成に伴 う費用に対して補助した件数					
基準年度	目標期間					
R3	R4	R5	R6	R7	R8	
実績値	目標值	目標値	目標値	目標值	目標值	
8件	目標年次の期間中 毎年 10 件以上					

指標名	防災、防犯上危険な空き家の解体工事について、その費用を補助した件数				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標值	目標值
10	目標年次の期間中 毎年 5件以上				

指標名	火災件数				
基準年度			目標期間		
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
8 件	目標年次の期間中 毎年 10 件以下				

指標名	普通救命講習および AED [※] を含む救急講習受講者数					
基準年度	目標期間					
R3	R4	R4 R5 R6 R7 R8				
実績値	目標値	目標値	目標值	目標値	目標値	
535人	目標年次の期間中 毎年 1,200人以上					

(単位:人)

指標名	消防団員の実員数					
基準年度	目標期間					
R3	R4	R5	R6	R7	R8	
実績値	目標値	目標値	目標值	目標値	目標値	
292人		目標年次の	期間中 毎年 2	290 人以上		

政策目標 2

安全で快適な生活環境が 維持された住みやすいまち

▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な 方向性 1

廃棄物の不法投棄や野外焼却のほか、土壌汚染、騒音、振動、悪臭など、 様々な生活環境汚染を防止するため、監視や指導、啓発に取り組みます。

施策

生活環境の汚染を防止

- ① 公害の発生や環境汚染の状況について必要な監視および測定を実施
- ② 狂犬病の発生を予防するため狂犬病予防注射の接種を促進



北陸新幹線福井・敦賀開業および中部縦貫自動車道県内全線開通など 高速交通体系の整備による交流人口*の増加が見込まれる中、犯罪抑止 機能を備えた生活環境を整えます。

施策

防犯体制の充実

具体的な取組

- ① 各地区等が取り組む防犯カメラの設置に対する補助を実施
- ② 各地区等が取り組む LED 街路灯の設置および交換に対する補助を実施
- ③ 各地区等が設置する街路灯の電気料金に対する補助を実施

基本的な 方向性 3

鉄道、路線バスを効率的に接続し、市内外の人が移動しやすい地域公共交通体系を構築するとともに、高齢者の運転免許自主返納を推進し交通事故の抑制に取り組みます。

施策

安全で快適な公共交通体系の構築

- ① 利用実績、運行履歴など蓄積されたデータを活用した効率的な運行を実施
- ② バスロケーションシステム*の導入に向けた調査等を実施



中部縦貫自動車道県内全線開通などによる交通量の増加が見込まれる中、 快適で安全な交通社会を実現するため、街頭での交通指導・啓発・教育 および広報宣伝などの活動に取り組みます。

施策

交通安全対策の推進

具体的な取組

- ① 街頭での交通指導・啓発および広報宣伝に関する活動を実施
- ② 交通安全教室の実施

基本的な 方向性 5

安全で豊かな消費生活を営むことができるよう、消費生活に関する正確な知識 や的確な判断力を身につける消費者教育に取り組みます。

施策

消費者教育の推進

- ① 安全で安心な消費生活確保のための教育・啓発活動を実施
- ② 世代や特性、ニーズを踏まえた学習機会を提供
- ③ 消費者市民社会※への理解促進



重要業績評価指標(KPI)

(単位:%)

指標名	市民アンケートにおけるバスの利用頻度(ほぼ毎日、週1回以上、月2から3回程度、月1回程度以上利用する割合の合計)				
基準年度	目標期間				
R2	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標值
3.6	_	5.0	_	_	10.0

(単位:件)

指標名	運転者年齢別交通事故(人身事故)発生件数(60歳以上)				
基準年度	目標期間				
R2	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標值	目標值	目標值	目標值	目標值
9	8	7	6	5	4

指標名	消費者教育・啓発を受けた経験がある人の割合					
基準年度	目標期間					
R2	R4	R5	R6	R7	R8	
実績値	目標值	目標値	目標值	目標値	目標值	
50.0%	目標年次の期間までに 70.0%以上					

政策目標3

地球にやさしく環境意識が 高いまち



▼ 政策目標を実現するための施策

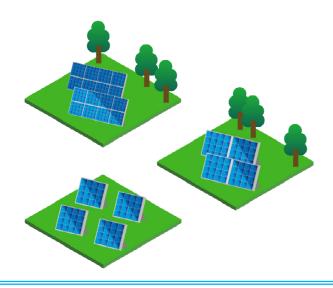
基本的な 方向性 1

令和 32 年(2050)までに二酸化炭素排出の実質ゼロ(ゼロカーボンシティ*) を目指すため、省エネルギー対策や再生可能エネルギー活用策の検討・研究に取り組むとともに、二酸化炭素吸収源としての機能を持つ森林の保全など、脱炭素*社会の実現に取り組みます。

施策

ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを強化

- ① 脱炭素社会の実現に向けて勝山市ゼロカーボンシティ戦略(仮称)を策定
- ② 再生可能エネルギーをはじめとした環境保全に関連した企業等を誘致(再掲)
- ③ 太陽光や小水力、雪氷熱等の再生可能エネルギーの活用に向けた研究を実施
- ④ 再生可能エネルギー関連事業の普及促進を支援
- ⑤ 公共施設の省エネルギー改修、再生可能エネルギー生産設備の設置
- ⑥ 環境に配慮した次世代自動車の導入を促進



市内事業者と連携した資源ごみの回収や市民の資源ごみ集団回収を支援し、ごみのリサイクルを促進するとともに、市民一人ひとりのごみ分別および減量に対する意識の啓発に取り組みます。

施策

ごみの分別および減量、リサイクルを促進

具体的な取組

- ① ごみ分別および減量に対する意識向上に向けた啓発活動を実施
- ② 廃棄物の適正な処理を継続
- ③ 古紙等の集団回収の促進

基本的な 方向性 3

美しい自然景観や眺望景観、歴史的景観を保全するとともに、これらと調和のとれた景観の形成に取り組みます。

施策

景観の保全

- ① 景観づくりに関する積極的な広報の実施
- ② 歴史的まちなみ景観の保全を支援
- ③ 道路、公園、河川等の公共施設の整備と適切な維持管理の実施
- ④ 良好な視点場の保全および適切な維持管理の実施



重要業績評価指標(KPI)

(単位:%)

指標名	市民アンケートにおける「省エネルギーや再生可能エネルギーの利用促進による低炭素社会の構築」に満足している人の割合 (満足、どちらかといえば満足の合計)					
基準年度	目標期間					
R2	R4	R5	R6	R7	R8	
実績値	目標値	目標値	目標値	目標值	目標值	
11.0	_	20.0	_	_	30.0	

(単位:g/人·日)

指標名	1人1日当たりごみ排出量						
基準年度	目標期間						
R2	R4 R5 R6 R7 R8						
実績値	目標値	目標値	目標値	目標值	目標値		
903	_	_	_	_	800		

(単位:%)

指標名	ごみの総量におけるリサイクル率						
基準年度	目標期間						
R2	R4 R5 R6 R7 R8						
実績値	目標値 目標値 目標値 目標値 目標値						
21.6	_	_	_	_	24.8		

(単位:件)

指標名	勝山市歴史的まちなみ景観創出事業補助金の交付件数					
基準年度	目標期間					
R2	R4 R5 R6 R7 R8					
実績値	目標值	目標值	目標值	目標值	目標値	
148	150	152	154	156	158	

政策目標 4

安心して快適に暮らせる都市基盤 が維持されたまち



▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な 方向性 1

安全な水を安定供給するため、水源や水質の適切な管理を継続するとともに、 経営状況を確認しながら、水の供給施設・管路の効率的な改築や更新に取り 組みます。

施策

安全な水の安定供給の維持

- ① 老朽化対策を考慮した基幹管路の耐震化を推進
- ② 適切な水道水源の管理
- ③ 定期的な経営状況の確認および適正な料金水準を検証



将来にわたり安全安心で快適な生活空間を確保しつづけるため、経営状況を確認しながら、水処理施設の計画的な改築・更新に取り組みます。

施策

水処理施設の効率的な更新

具体的な取組

- ① し尿と汚水を共同で処理するし尿受入施設を建設
- ② 下水管渠の更新に備えた現状調査を実施
- ③ 下水処理施設の計画的な改築・更新を実施
- ④ 大蓮寺バイパス幹線整備工事をはじめとする三谷川浸水対策事業を実施
- ⑤ 定期的な経営状況の確認および適正な使用料水準を検証
- ⑥ 下水道事業および農業集落排水事業の公営企業会計化を推進

基本的な方向性

道路や公園など今後老朽化が進む社会資本は、定期的な点検を踏まえて修繕計画を都度更新するとともに、計画に基づいた改築・更新など、適切な維持管理に取り組みます。

施策

社会資本の適切な維持管理

- ① 定期的な点検等を踏まえた個別施設管理計画の更新
- ② 個別施設管理計画に基づいた計画的な改修、集約、撤去等を実施

道路や公園、河川、下水道等の都市基盤の整備が進んでおり、引き続き、整備の緊急性やその効果、地域の実情やニーズなどを勘案しながら、計画的な都市基盤の整備を進めます。

施策

計画的な都市基盤の整備

具体的な取組

① 環境負荷が少なく持続可能な都市基盤の整備





重要業績評価指標(KPI)

(単位:%)

指標名	水道事業における基幹管路(84,063m)の耐震適合率					
基準年度	目標期間					
R3	R4 R5 R6 R7 R8					
実績値	目標値 目標値 目標値 目標値 目標値					
13.5	14.7	16.0	17.4	19.0	20.3	

(単位:%)

指標名	下水管渠現状調査(第1期分17,498m)の実施割合 (全体調査予定延長51,937m)					
基準年度	目標期間					
R3	R4 R5 R6 R7 R8					
実績値	目標値 目標値 目標値 目標値 目標値					
0	21.4	42.8	63.4	81.9	100.0	

(単位:橋)

指標名	橋梁の修繕工事着手数(のべ)					
基準年度	目標期間					
R3	R4 R5 R6 R7 R8					
実績値	目標値 目標値 目標値 目標値 目標値					
27	34	36	37	40	40	